

# 元気いっぱい！ 僕らの旅！

アドベンチャー  
ツーリング2015

弟子屈町未来こども協議会(目黒厚子会長)主催の「元気いっぱい！僕らの旅！(アドベンチャーツーリング2015)」が、今年も8月8日～12日の5日間にわたって行われました。

グループ分けやツーリングのコース、食事計画などを子どもたちが自ら決定し、自転車で旅をするアドベンチャーツーリング。活動は6月に始まり、12月まで続きます。今年も小学校3～6年生13人が参加。テントでの寝泊まりや野外での自炊を行いながら、総走行距離226.5キロの自転車ツーリングに挑戦しました。



奥春別小6年 小泉真大君  
和琴小6年 本間由奈さん  
弟子屈小6年 鈴木太陽君

## 今年の冒険小僧たち



和琴小5年 土田渉介君  
弟子屈小4年 木名瀬周太君  
弟子屈小4年 伊藤溪一君  
弟子屈小4年 鈴木大地君  
和琴小4年 永谷優奈さん



和琴小3年 土田英恵さん  
奥春別小3年 小泉汐南さん  
奥春別小3年 辻谷風太郎君  
奥春別小3年 辻谷寅次郎君  
弟子屈小3年 齊藤由奈さん

協力隊通信  
南弟子屈の風



日々の活動  
発信中！



地域おこし協力隊facebook(フェイスブック)

<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshikyouryokutai>



ワーキンググループにも参加しています

地域おこし協力隊の炭田晃希です。北海道の夏の短さに驚きました。夏の衣替えを半分だけやったら、夏が終わりにかけています。半分以上のTシャツが段ボール箱に入ったままです。

毎日、弟子屈町の生活を一生懸命楽しんでいますが、今月は通常の地域おこし協力隊の業務内容の紹介をしたいと思います。

### 南弟子屈地域活性化協議会の事務局として

現在、私は南弟子屈地域に住んでいます

す。それには理由があります。南弟子屈がメインの活動場所の1つだからです。私が弟子屈町地域おこし協力隊に着任するにあたって「地域づくり活動支援員」という活動テーマをいただきました。町内のイベントや行事のお手伝いも活動の1つではありますが、旧昭栄小学校を中心とした南弟子屈地域の将来を考える協議会「南弟子屈地域活性化協議会」の事務局も仕事のメインの1つです。

市街地から少し離れている南弟子屈では、昭栄小学校が地域の拠点の1つとなっていました。しかし、昭栄小学校は今年の3月末に閉校になってしまいました。小学校がなくなってしまった地域の拠点としての機能が失われることを懸念した役場と自治会が、JAや商工会にも協力を仰ぎ、南弟子屈地域活性化協議会が組織されました。

南弟子屈地域活性化協議会では、南弟子屈地域が今後も自立していくためにも、この地域をどのような地域にしていきたいかという「将来像」を地域の皆さんで考えて決めることを目標としています。現在は、ワーキンググループを開催し地域ビジョンを策定するための意見交換を行っています。そして今はそのままになっている旧昭栄小学校校舎ですが、今後の地域ビジョンに応じて活用していく予定です。

私は南弟子屈地域活性化協議会の事務局として、ワーキンググループ開催の調整や会報誌の作成などを行っています。

### 弟子屈中学校壁新聞の取材を受けました



中学生の質問がとてもしっかりしていて驚きました

8月4日に、弟子屈中学校3年生の取材を受けました。同校では毎年、生徒が壁新聞作りに取り組んでいて、全道コンクールで大賞を受賞するなど、レベルも高いのです。今年の壁新聞のテーマの候補の1つに「地域おこし協力隊」が上がっているとのこと、地域おこし協力隊がどのような仕組みなのかを知るために、役場を訪れてくれました。

取材には、担当であるまちづくり政策課の渡田淳二政策調整係長と私の2人で対応。地域おこし協力隊の制度や私の業務内容などについて説明しました。

テーマが正式に決まったら、再び取材に来てくれるとのこと。ぜひ、また取材に来てほしいですね！

# 達成感と感動を手にして 仲間と共有して 自己肯定感を抱けるように

今年も子どもたちの熱い夏が終りました。

「元氣いっぱい！僕らの旅！（アドベンチャーツーリング2015）」は、弟子屈町未来子ども協議会が主催して今年で5回目。非日常生活体験活動を通して、子どもたちが社会性や協調性、冒険心、挑戦心を養うこと。思いやりの心や豊かな心、たくましく生きる力を育むことを目的に行われています。今年も小学校3～6年生13人が参加。8月8日に網走市をスタートし、北見市、美幌町を経由して12日に本町にゴールという4泊5日の行程を、全員で無事に達成することができました。総走行距離は226.5km。子どもたちは自炊とテント泊のほか、さまざまな体験活動も行い、一回りも二回りも大きくなって帰ってきました。

## 子どもたちの課題の解決 そして人づくりへ

アドベンチャーツーリングには、活動によって現代の子どもたちが抱える課題を解決したいというねらいがあります。具体的には、次の

- 2つの目標を掲げています。  
やり遂げたことを通して達成感を味わい、その感動を仲間と分かち合うこと。  
（感動を促す）
- 自分に自信を持つ。  
（自己肯定感の向上）  
この目標の背景にあるのは、現代の子どもたちに見られる、次のような現状です。
- コミュニケーション能力が低下している。
- 自分が傷つくことを恐れ、他人との



第4回目の活動 火おこしや野外炊飯の練習なども

## アドベンチャーツーリングを通して成長を

な体験活動や集団活動が子どもたちに必要だと考えています。そうした機会を子どもたちに提供したいと、同協議会ではさまざまな事業を展開しています。子どもたちが健やかにたくましく成長できるように、また、地域に対する愛情を育んでいけるように…という思いからです。

根底にあるのは、子育ては家庭と学校、地域が一体となって行うものだという理念です。理念は第5次弟子屈町総合計画にもうたわれ、具体的な事業としては町教育委員会が行う青少年健全育成事業などがありますが、地域での子育ての受け皿になりたいと同協議会では考えています。

未来子ども協議会が主催する体験活動の中で、アドベンチャーツーリングは「たくましく育ってほしい」「仲間と協力し、信頼関係を築いてほしい」「自分に自信を持ってほしい」というねらいのもと行われています。そのためには、子どもたち自身を中心に、日頃行わない活動に挑戦すること、挑戦によって「気づき」を得ること、「気づき」によって子どもたちも保護者もスタッフもみんなが成長していくことが必要だと考えています。

こうした観点から、アドベンチャーツーリングも、走って終わりでは

ありません。活動は自転車に乗る前の段階から始まります。参加希望者に対する条件が「全日程に参加できること」とされた理由が、ここにあります。



テントの撤収もみんな力を合わせて

また、核家族化・少子化が進み、異年齢の子どもとの交流や、親や学校の先生以外の大人との触れ合いの機会が減少していることも、子どもたちのコミュニケーション能力の低下につながっています。

さらに、家庭や学校ではいろいろな制約も多く、指示されないと行動できない子どもが増えています。制約を受けていることから、失敗してしまうことや間違ってしまうことを恐れ、自分で物事を決定することができません。自分から進んで行動したり、自分の思いや考えを持つこ



コースや食事の予算などを再確認

とが苦手になっています。

加えて、学びの土台・出発点である「体験」の不足により、子どもたちの思考の活性化が妨げられているともいわれています。

以上のことから「自分はできない」と思い込み、自己肯定感を持っていない子どもが増えています。

## 家庭・学校・地域が連携し 子どもの成長の一助に

子どもたちが抱える課題を解決し、大きくたくましく成長した先にあるもの。それは、その力を発揮して地域づくりを担ってくれることだと考えます。人づくりは地域づくり。そういった観点から、さまざま

となって旅を創り出してほしいからです。子どもたちにはつらい場面も多々あったかもしれない旅。乗り越えたとき、子どもたちの心には何が残ったのでしょうか。

開会式から約半年にわたる活動。本番から4カ月後の12月には、映像などを見ながら活動を振り返り、達成感や喜びをあらためて仲間と分かち合います。

## わたしたち 未来子ども 協議会です

皆さんは弟子屈町未来子ども協議会をご存じですか。

同会は2006年10月1日設立で、現在の会員は21人。子育て世代のお父さん・お母さん、子育てが一段落ついたおじいちゃん・おばあちゃん、保育士や元保育士、元教師、保健師などで構成され、子どもたちの健やかな成長を地域として支えるために、さまざまな活動を行っています。

同協議会では随時、会員を募集しています。申し込み資格は特にありませんので、お気軽にお問い合わせください。

□問い合わせ先／会長・目黒 4823062まで。

## アドベンチャーツーリング2015の流れ

6月26日金	第1回目
開会式・オリエンテーションなど。	
7月5日日	第2回目
グループ決め・旅のコースづくりなど。	
7月20日月	第3回目
自転車走行練習など。	
7月26日日	第4回目
買い出し・野外炊飯・テント設置、撤去など。	
8月5日水	第5回目
食事計画・テント設営など。	
8月6日木	第6回目
持っていく装備や道具の話合いと準備。	
8月8日出～12日水	第7回目(本番)
町公民館からバスで網走市に移動してツーリングスタート。4泊5日で226.5kmを走破して、元気に弟子屈町へゴール！	
8月下旬	第8回目
後片付けなど。	
12月上旬	第9回目
活動の振り返り。	

## いざ本番 自転車旅の始まり

活動は、上の図のような流れで行われました。

本番初日の8月8日は、町公民館での出発式の後、お父さんやお母さんが見送る中、バスで網走市のオホーツクサイクリングコーススタートへ移動。ツーリングを開始しました。

活動中、スタッフは基本的には見守りに徹します。子どもたちが主体

## 参加したみんなから

### 【小泉真大君】

今年も、いろいろなことがあってとても楽しかったです。

僕は6年生なので、小学生での参加は最後でした。だから、いっぱい体験活動することができて、いい思い出ができました。

昨年と今年でリーダーを務めました。去年できなかった地図の確認を、今年もしっかりやることでできたのでよかったです。

できれば来年も参加したいです。来年は中学生なので、小学生にいろいろ教えてあげたいです。

### 【本間 由奈さん】

初めてアドベンチャーツーリングに参加してとても楽しかったです。一番楽しかったのは、北見ファミリールランドです。ジェットコースターやコーヒーカップがおもしろかったです。

一番つらかったことは、美幌峠を自転車で登ったことです。5日間いろいろな体験ができてよかったです。

### 【鈴木 太陽君】

小学校生活最後の思い出として参加しました。美幌峠がつかつかつたけれど、諦めずに頑張りました。いい思い出になりました。

### 【土田 渉介君】

初めてアドベンチャーツーリングのリーダーになって、大変だったこともあったし、楽しかったこともありました。大変だったことは、火おこしと峠を登ったことです。

楽しかったことは、体験活動です。みんなで協力してゴールできてよかったです。

### 【木名瀬 周太君】

アドベンチャーツーリングは、今年で4回目の参加です。みんな最初は過酷だと言っていたけれど、僕は楽しいと思います。

楽しいところは、自転車で坂を下るところ。あと、火おこしが一番楽しいです。嫌なことは、寝袋の中から出る時寒いことです。

### 【伊藤 深一君】

アドベンチャーツーリングに参加してよかったことは、8月11日の火おこしがうまくいったことと、美幌峠を越えられたことです。8日の火おこしがうまくできなくて、残念でした。

北見ファミリールランドでは、コートと初めて乗ったジェットコースターが面白かったです。

### 【小泉 夕南さん】

いろいろな楽しいことやつらいことがあったけれど、チャレンジと努力が大切だと思いました。

226・5\*の中で2つの峠があったけれど、越えることができてよかったです。

### 【土田 英恵さん】

体験して、助け合って、毎日けんかしていた4泊5日だったと思います。楽しかったし、みんなで協力しているところを、たくさん見られたと思います。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

### 【辻谷 風太郎君】

壊れた自転車を直すのに、あくちやん(スタッフ)が弟子屈に戻ったりして、どうしてそんなにするのかと聞いたら「自転車が好きだから」と言っていて、すごいと思った。

ハッチ(スタッフ)が作ってくれた、カリカリしたパンと飲み物がおいしかったです。

「マちゃん(木名瀬君)と寝る前に話したことが楽しかった。釣りが楽しかった。ひょうが降って怖かった。自転車で興味を持ったので、MTB(マウンテンバイク)とロードレーサーを調べる。」

また、絶対に行きたい。

### 【辻谷 寅次郎君】

海釣りでも黒カレイが釣れて、うれしかった。美幌峠を全部しっかり登れて、うれしかった。

おくちゃん(スタッフ)は、とにかくすごい。

また絶対に行きたいし、今度はロードレーサー(自転車)に乗りたい。

ハフチャイ(大学生スタッフ)やスタッフにまた会いたい。

楽しかったことは、ファミリールランドでジェットコースターに乗ったことです。

アドベンチャーツーリングに初めて参加してつらかったことは、美幌峠の登り坂です。

楽しかったことは、ファミリールランドでジェットコースターに乗ったことです。

アドベンチャーツーリングは、今年で通算8回目のアドベンチャーツーリング。過去7回に比べ、充実した活動になったような気がします。

参加者13人に対し、スタッフは最小限の人数でのサポート体制。スタッフは仕事や家庭の都合で、途中参加、途中帰宅など出入りがあり、多い日も少ない日もありましたが、スタッフ間で補い合いながら運営しました。

また、3年ぶりに町教育委員会の協力をいただき、少ないスタッフでも楽しく運営することができました。

保護者の皆さんは、活動に対するよき理解者。活動期間中は心配な気持ちを抑え子どもたちが達成(ゴール)する瞬間まで見守ってくれます。さらに、喜びをみんなで分かち合える

スターが面白かったです。長距離を短時間で走れるようにするという目標は達成できなかったけれど、みんなと同じペースで走ることも大切だと知りました。

みんな無事にゴールできて、よかったです。

北見ファミリールランドに行ったこと、美幌峠が楽しかったです。

つらいことは、ありませんでした。ひょうが降ったりしたけれど、最後まで諦めずに走ることができてよかったです。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

体験して、助け合って、毎日けんかしていた4泊5日だったと思います。楽しかったし、みんなで協力しているところを、たくさん見られたと思います。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

## スタッフの思い



プログラムディレクター  
弟子屈町未来子ども協議会  
事業部長  
奥村 利之さん

今年のコースは、網走市の大曲駐輪場をスタートし、北見市常呂町→北見市留辺蘂町温根湯温泉→北見市内→美幌町→弟子屈町公民館にゴールの226・5\*です。

8月8日、網走市からオホーツクサイクリングロードを快調に走り、常呂町の栄浦漁港で海釣りに挑戦。カレイやカジカを釣り、ネイパル北

## 非日常体験を自分自身の宝に

町教育委員会で行っていた「てしかが冒険隊アドベンチャーツーリング」それを継続する形で始まった当協議会での実施が、5年目となりました。

例年どおり保護者説明会を実施。小学3〜6年生13人から申し込みがありました。そのうち、昨年以前にも参加したことがある子が8人いました。

6月26日の開会式から活動がスタート。グループ分け、スタート地点やツーリングコースの決定、炊事やテント設置、撤去などの活動、食事計画、食器などの装備品準備…。ツーリングに必要な準備を、子どもたちが自ら行いました。

今年のコースは、網走市の大曲駐輪場をスタートし、北見市常呂町→北見市留辺蘂町温根湯温泉→北見市内→美幌町→弟子屈町公民館にゴールの226・5\*です。

8月8日、網走市からオホーツクサイクリングロードを快調に走り、常呂町の栄浦漁港で海釣りに挑戦。カレイやカジカを釣り、ネイパル北

今年で通算8回目のアドベンチャーツーリング。過去7回に比べ、充実した活動になったような気がします。

参加者13人に対し、スタッフは最小限の人数でのサポート体制。スタッフは仕事や家庭の都合で、途中参加、途中帰宅など出入りがあり、多い日も少ない日もありましたが、スタッフ間で補い合いながら運営しました。

また、3年ぶりに町教育委員会の協力をいただき、少ないスタッフでも楽しく運営することができました。

保護者の皆さんは、活動に対するよき理解者。活動期間中は心配な気持ちを抑え子どもたちが達成(ゴール)する瞬間まで見守ってくれます。さらに、喜びをみんなで分かち合える

スターが面白かったです。長距離を短時間で走れるようにするという目標は達成できなかったけれど、みんなと同じペースで走ることも大切だと知りました。

みんな無事にゴールできて、よかったです。

### 【小泉 真大君】

今年も、いろいろなことがあってとても楽しかったです。

僕は6年生なので、小学生での参加は最後でした。だから、いっぱい体験活動することができて、いい思い出ができました。

昨年と今年でリーダーを務めました。去年できなかった地図の確認を、今年もしっかりやることでできたのでよかったです。

できれば来年も参加したいです。来年は中学生なので、小学生にいろいろ教えてあげたいです。

### 【本間 由奈さん】

初めてアドベンチャーツーリングに参加してとても楽しかったです。一番楽しかったのは、北見ファミリールランドです。ジェットコースターやコーヒーカップがおもしろかったです。

一番つらかったことは、美幌峠を自転車で登ったことです。5日間いろいろな体験ができてよかったです。

### 【鈴木 太陽君】

小学校生活最後の思い出として参加しました。美幌峠がつかつかつたけれど、諦めずに頑張りました。いい思い出になりました。

### 【土田 渉介君】

初めてアドベンチャーツーリングのリーダーになって、大変だったこともあったし、楽しかったこともありました。大変だったことは、火おこしと峠を登ったことです。

楽しかったことは、体験活動です。みんなで協力してゴールできてよかったです。

### 【木名瀬 周太君】

アドベンチャーツーリングは、今年で4回目の参加です。みんな最初は過酷だと言っていたけれど、僕は楽しいと思います。

楽しいところは、自転車で坂を下るところ。あと、火おこしが一番楽しいです。嫌なことは、寝袋の中から出る時寒いことです。

### 【伊藤 深一君】

アドベンチャーツーリングに参加してよかったことは、8月11日の火おこしがうまくいったことと、美幌峠を越えられたことです。8日の火おこしがうまくできなくて、残念でした。

北見ファミリールランドでは、コートと初めて乗ったジェットコースターが面白かったです。

いろいろな楽しいことやつらいことがあったけれど、チャレンジと努力が大切だと思いました。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

体験して、助け合って、毎日けんかしていた4泊5日だったと思います。楽しかったし、みんなで協力しているところを、たくさん見られたと思います。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。

楽しかったのは、北見ファミリールランドで遊んだことです。大変かなあと思ったことは、美幌峠でした。



# 仲間と走った226km



①8月8日 旅の始まりは網走市／②強い日差しの中ツーリングスタート／③地図でルートを確認／④初日のお楽しみ 海釣り体験／⑤明日に備えて夕食をもりもり／⑥2日目 元気にネイバル北見を出発／⑦登り坂が少しきつい／⑧温根湯の山の水族館を楽しむ／⑨今宵の宿を確保／⑩炭おこしも力を合わせて／⑪3日目 テントの撤収も協力し合って／⑫8月10日は北見市街地を通るコース／⑬4日目 北見ファミリーランドで大はしゃぎ／⑭⑮食事の準備や後片付けも自分たちで／⑯⑰難関の美幌峠に向けて快走⑱つらくても頑張った美幌峠⑲全員でたどり着いた美幌峠⑳お父さんやお母さんが出迎える中 感動のゴール



元気いっぱい！僕らの旅！（アドベンチャー ツーリング2015）本番の様子を写真で振り返ります。

今年も北海道教育大学岩見沢校アウトドア・ライフコース専攻の学生2人をも実習生として受け入れ、事業を実施しました。活動中、スタッフは見守りが中心で、よほどのことがない限り手を出しません。子どもが伸びようとする場面を阻害せず待ち、正解を教えるのではなく「気づき」を与えられるように接することに重きを置いているからです。主体となって活動できる半面、子どもには負担も増えますが、そこを乗り越えてたくましく育ってくれるのだと思います。

また、昨年に引き続き企業からの協賛もありました。屈斜路ガイドステーションわか（木名瀬裕代表）がテントを貸してくださったほか、東部ダイハツ（標茶町）が活動に使う車両を格安でレンタルしてくださるなど、事業の趣旨に賛同して下さる地域の皆さんも増えています。